

登山・登攀の記録

北アルプス 黒部別山大へツリ尾根～十字峡～鹿島槍ヶ岳

日時:2002年3月12日～3月23日

メンバー:伊藤達夫(コーチ)、中西博己

概要:黒部別山や劔沢大滝周辺の雪稜ルートは、それ自体の困難性もさることながら、そこへどのようにアプローチし、また、登ったあとにどこへ行くのかということも興味の対象となる。我々も計画段階であれこれ検討し、山屋としての勘を試される真正面からのアプローチと、二人とも夏冬通じて行ったことのない十字峡を訪れ、大好きな牛首尾根に登り返して信州側に戻ってくるというプランができあがった。雪の状態を考え、2月中に出発したかったのだが、諸般の事情から3月中旬の入山になってしまった。その結果、恐れていた通り、雪面の亀裂と全層ザラメ状の最悪の雪質に悩まされることになった。しかし、日頃の行いの良さと、知恵を絞って上手く行動したおかげで無事に計画を完遂することができた。

記録

3月12日 晴のち雪

アルペンラインゲート(5:50)－扇沢(7:50/8:20)－
新越尾根取付(8:45)－2250^{メートル}(13:50)

扇沢から後立山への最も無難なアプローチである新越尾根を登る。初日ということで早めに行動を打ち切る。

3月13日 晴

出発(7:00)－稜線(9:00)－岩小屋沢岳(9:50)－
北西尾根 1780^{メートル}(15:40)

どうせ黒部川までは行けないということでのんびり起床し、北西尾根 1780^{メートル}の広いピークまで。黒部別山東面の展望を思う存分楽しんだし、ルートの状態をよく観察することもできた。

3月14日 晴のち曇

出発(9:00)－黒部川(16:20)－大へツリ右ルンゼ
登攀開始(17:45)－大へツリ尾根 1450^{メートル}(24:15)

右ルンゼに取り付くのは日が落ちてからと決めていたのでわざと出発を遅らせた。予定通りのルートを下降。ロープを結んで急雪壁を10ピッチ以上クライムダウンしたあとに、さらに懸垂下降を2回で黒部川に降り立った。下降中ずっと、登るべき大へツリ右ルンゼが見えていたのだが、上部の雪田の亀裂がどんどん大きくなり、次々と雪崩が発生していて、さすがに不安になった。

黒部川に降りたあとも、汚いデブリを吐き出し続けるルンゼを眺めていたが、薄暗くなってようやくそれも治まったようなので、ヘッドランプを装着し意



大へツリ尾根の全貌

を決して登高を開始する。二俣の少し上でロープを結び、上部雪田では亀裂を避けてあみだくじのようなラインを取ってようやく大へツリ尾根の雪稜に這い上がった。日付が変わってからテントを立てた。

3月15日 雨のち雪 <停滞>

穏やかな雨がやがて激しい雷雨に変わり、最後には雪が降ってきた。登ってきた雪壁は崩れてしまっただろう。もう後戻りはできない。

登山・登攀の記録

3月16日 晴

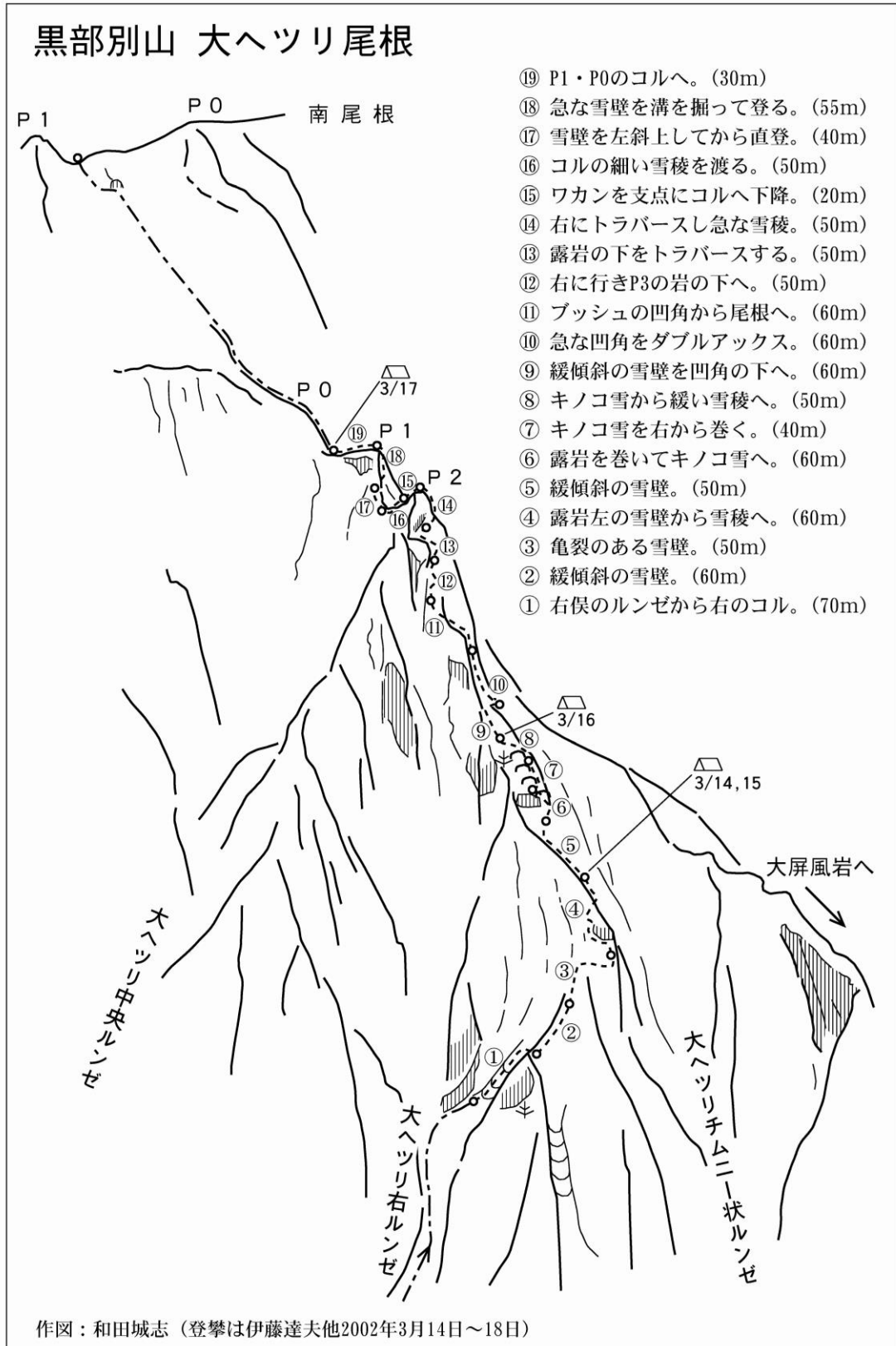
出発(8:20) - P3基部・1ピッチ Fix 完了(15:15)

P3の取付まで行く。雪の状態が悪く驚くほど時間がかかってしまった。この先はテントサイトがな

いと判断して、急な凹角に1ピッチフィックスしてから戻ってテントを張る。

3月17日 曇

出発(6:45) - P1(21:30) - P1・P0のコル(22:00)



登山・登攀の記録

フィックスを登ったあと、さらに2ピッチ伸ばしたところで尾根の右側に回り込む。ここから弱点を突いてトラバースを続け、最後は中尾根側からP2のピークに出る。ピークでは支点が得られず、ワカンを埋めてP1とのコルへ下降する。中尾根支稜を登っている3人パーティーを見つけた。

崩れそうな雪稜を渡ってから、いよいよP1の登りにかかる。夜間登攀となったが、その方が目の前の雪に集中できてよかった。2ピッチでピークに出た。P0とのコルまで行ってテントを張った。完登できそうなので、たまってしまった緊張感をほぐすために朝方まで起きていた。

3月18日 晴のち雪

出発(10:45)－南尾根上(13:25)－黒部別山南峰(14:30)－西尾根分岐(16:10)

傾斜の緩い大雪面をのろのろと登って南尾根に出る。途中で見下ろすと中尾根に取り付いたパーティーがいた。黒部別山の尾根は大盛況である。南尾根に出る頃に雪が降り出した。西尾根分岐まで頑張る。

3月19日 雪のち晴

出発(8:30)－黒部別山主峰(9:30)－北峰(10:45)－北尾根 1670 ㍎(18:30)

北峰に着く頃に天候が回復し、刃が見えた。北尾根の下降はルートファインディングが難しく、隠れた亀裂にも悩まされて、思ったほど捗らなかった。暗くなってしまう、がっかりしてテントを張った。

3月20日 晴

出発(7:30)－十字峡(15:30)－十字峡下流 500 ㍎(17:10)

尾根の下部になると頼みの5千分の1の地形図も役に立たず、闇雲に下降を続ける。やたら懸垂下降を強いられシュリングの消耗も激しかった。ようやく十字峡に着き、少し感動。下流に行くと、スノーブリッジがあることを確認してからテントを張った。

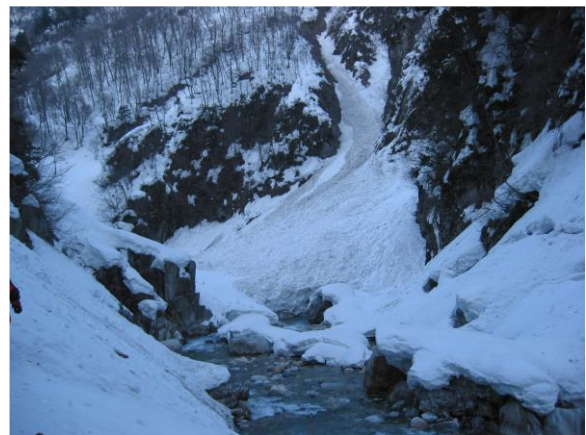
3月21日 曇のち雨

出発(7:10)－尾根取付(7:30)－1900 ㍎(14:00)
対岸に渡り、北尾根からの偵察で目星をつけてお

いた傾斜の緩いブナの疎林の中を登る。雨が降



大ヘツリ尾根P2・P1のコル



黒部川のスノーブリッジ

ってきたので、牛首尾根に合流する手前で早めに行動を打ち切った。

3月22日 曇のち雪

出発(6:50)－牛首尾根上(7:25)－牛首山(10:30)－鹿島槍ヶ岳南峰(12:40)－冷池(14:10)

牛首山を過ぎると降雪が始まり、じきにホワイトアウトになった。ひたすら登り続けると、南峰のピークに出た。人がいてびっくりした。走るようにして冷池まで下って、小屋より少し先にテントを張る。

3月23日 雪

出発(7:10)－高千穂平(8:40)－赤岩尾根取付(10:20)－大谷原(11:30)

食糧が尽き、行動食1日分を残すだけになった。ホワイトアウトで赤岩尾根の出だしは難しかったが、やがてペースが上がった。大谷原からタクシーでゲートに戻った。(記/伊藤)

登山・登攀の記録
